

（仮称）次世代型 スポーツ施設整備事業 のご紹介



さいたま市 スポーツ文化局 スポーツ部 スポーツ政策室

(仮称) 次世代型スポーツ施設の整備予定地は？

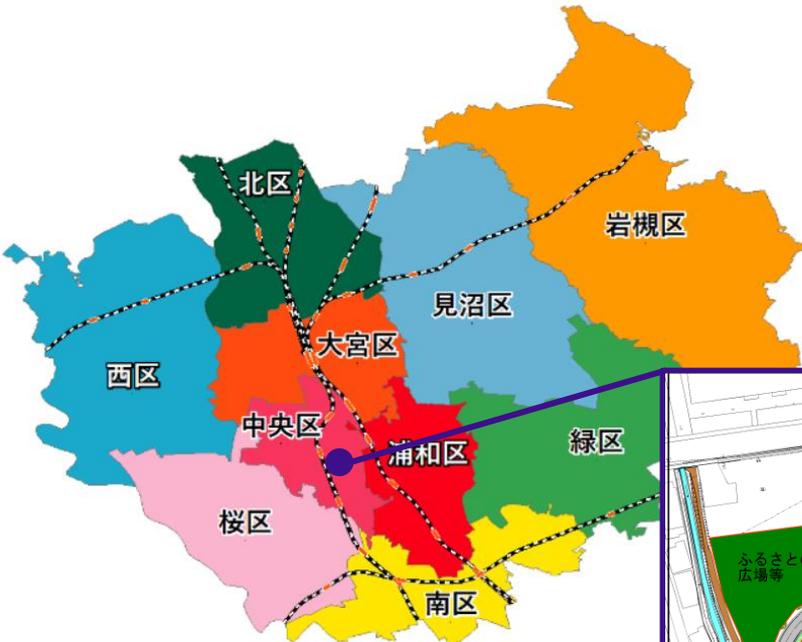
与野中央公園に民間力を活用した (仮称) 次世代型スポーツ施設を整備します

旧与野市からの
スポーツ施設の
整備計画

地区内外から
多くの人を訪れ
交流できる
公園整備の目標

中央区役所周辺
や与野本町駅周
辺との連携・強化
による
未来に向けた
中央区のまちづくり

老朽化した与野
体育館の機能を
受け継ぐとともに、
新時代に求められる
施設の必要性



※施設の位置やレイアウトは、事業者の提案をもとに決定します。

①（仮称）次世代型スポーツ施設とは？

◆コンセプトは？

“次世代の交流拠点”

スポーツがもつさまざまな力をまちづくりに生かしていきます。



◆事業手法は？

民間事業者が持つノウハウ等を施設整備・事業運営に活用できるPFI制度（BTO方式）で整備を進めます。



内閣府資料より抜粋

◆スケジュールは？

令和11年度供用開始を目指し、事業を進めます。

② 施設の概要（求める水準案）

メインアリーナ

～ 多様な催しを楽しめる「みるスポーツ」の拠点 ～

競技場	<ul style="list-style-type: none">バスケットボールコートの場合は2面（国内競技団体基準。国際公式基準では1面）、バレーボールコートの場合は2面（同上）、フットサルコートの場合は2面（同上）、卓球20面（国内競技団体基準）
床面	<ul style="list-style-type: none">コンクリート土間床 ※アイスリンク設備対応
観客席	<ul style="list-style-type: none">固定席、可動席を問わず5,000席以上※アリーナの一部に仮設席等の配置可 ※必要に応じて座席数の0.5%以上の車椅子席(スペース)確保
付帯施設	<ul style="list-style-type: none">VIPエリア（VIP居室、ラウンジ）

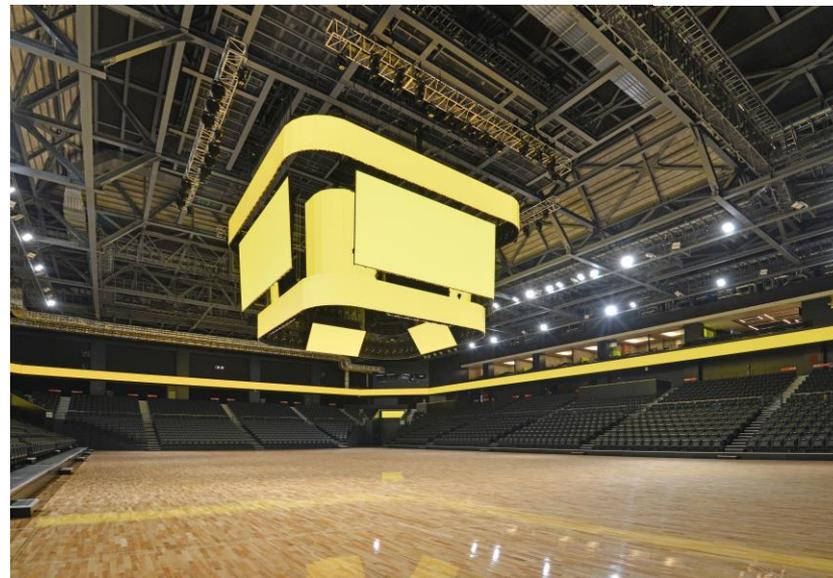


【イメージ（他都市の同規模メインアリーナ）】



横浜BUNTAI（内観イメージ）

【出典】横浜文化体育館再整備事業



オープンハウスアリーナ太田

【出典】施設案内 | オープンハウスアリーナ太田 | 公式サイト【オブアリ】

③ 施設の概要（求める水準の案）

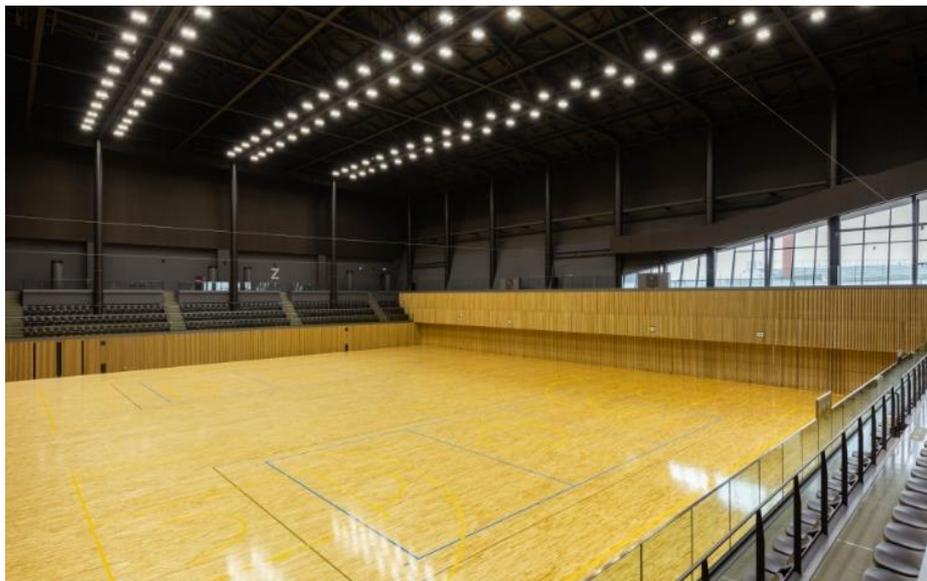
サブアリーナ

～ 与野体育館の機能を継承する「するスポーツ」の拠点 ～

競技場	<ul style="list-style-type: none">与野体育館と同等程度の競技場面積（バスケットボールコートの場合は2面、バレーボールコートの場合は2面、バドミントンコートの場合は6面、卓球の場合は20面）
床面	<ul style="list-style-type: none">木床
観客席	<ul style="list-style-type: none">固定席、可動席を問わず200～500席程度 ※座席数の1%+2席以上の車椅子席(スペース)確保



【イメージ（他都市のサブアリーナ）】



SAGAアリーナ サブアリーナ
【出典】SAGAアリーナTOP | SAGAサンライズパーク



照葉積水ハウスアリーナ サブアリーナ

【出典】施設紹介【サブアリーナ詳細】| 福岡市総合体育館・照葉積水ハウスアリーナ

④ 施設の概要（求める水準の案）

結節空間

～ メインアリーナとサブアリーナ、スポーツ施設と公園をつなぐ空間 ～

想定用途
及び機能

- ・ 総合案内、競技時の入口、イベント時のホワイエ、入場者待機スペース
- ・ 飲食・物販の提供、売店・グッズ販売（イベント開催時）、ミニイベント（マルシェ）、商店街や企業のプロモーション、天候に左右されることなく子どもが遊びや運動ができるスペース（ひろば）
- ・ メインアリーナ、サブアリーナ又は与野中央公園と連動した多彩なイベントや、結節空間単独でのミニイベントに活用できるよう、センシングや映像技術設備を設置



【イメージ（他都市の類似施設）】



（仮称）青森市アリーナ 屋根付き空間（ヨリドマ）（イメージ）
【出典】（仮称）青森市アリーナ及び青い森セントラルパーク等整備運営事業 設計概要



アオーレ長岡 ナカドマ（屋根付き広場）
【出典】ナカドマ（屋根付き広場）